

みやぎ女性応援プロジェクト実態調査の概要について

1 調査目的

宮城県では、大学・短期大学を卒業した学生の半数近くが就職を機に県外に転出しており、高齢化や人口減少の要因の一つとなっている。こうした現状を緩和するため、多くの若年層、特に女子学生が県内に定着しやすい環境の整備を推進することが求められている。そこで本調査では、県内の大学生及び県内企業を対象にアンケート調査（大学生には追加インタビュー調査）を実施し、大学生の就職に対する考え方や就職活動、就職先に求める要件など、県内企業の女性採用と女性活躍の取組みなどの実態を把握する。そして双方の調査結果を分析し、若年層、特に女子学生の県内への就職及び定着に有効な施策や、若年層への効果的な施策等の広報、庁内の広範な業務に活用するための基礎資料とする。

2 調査の概要

	(1) 宮城県内大学・短期大学学生就職等調査		(2) 企業等女性活躍実態調査			
	① アンケート調査	② インタビュー調査				
調査目的	県内大学生・短期大学生の就職と定着に関する意識等の把握		県内企業の女性採用と女性活躍の取組等に関する実態の把握			
調査対象 (分析対象)	県内の大学及び短期大学（19校）に在籍する短大生及び大学3，4年生等	アンケート調査の回答者から抽出した学生	従業員数10名以上の県内企業から抽出した1,525社			
調査時期	令和4年6月3日（金）～26日（日）	令和4年7月23日（土）～24日（日）	令和4年6月6日（月）～26日（日）			
調査手法	インターネットアンケート	オンライングループインタビュー	紙面アンケート			
回答数等	1,882人	20人	543社			
属性	性別	男性40.4%，女性56.5%， 答えたくない3%	性別	男性8人，女性12人	事業所所在地	仙南圏5.0%，仙台圏72.7%，大崎圏5.5%， 栗原圏3.1%，登米圏3.7%，石巻圏7.4%， 気仙沼・本吉圏2.6%
	出身地	宮城県52.7%，東北（宮城県を除く）28.4%，その他19%	出身地	宮城県13人，東北（宮城県を除く）6人，その他1人		
	学校 (学年)	学部4，6年生47.2%， 学部3，5年生44.5%，短大生8.2%	学年	3年生4人，4年生16人	企業規模	10～19人15.9%，20～49人31.9%， 50～99人18.5%，100～299人21.2%， 300～499人4.2%，500～999人5.4%， 1000人以上3%
	学問 分野	文系53.8%，理系37.0%， その他9.2%	希望する就職先地域	県内8人，県外12人		

2つの調査結果のポイント

【宮城県内大学・短期大学学生就職等調査】

POINT 1 就職先地域 →参照P5, P7, P8

- ・女子学生が希望する就職先地域は、「**県内**」が4割、県内でも県外でも「**どちらでもよい**」が3割。
- ・県内出身者が県外への就職を希望する理由としては、「**宮城県外に住んでみたい（親元から離れたい、一人暮らしがしてみたい等）**」が最も多いが、一方で、そのうちの**半数が将来宮城県に戻る可能性あり**と回答。

POINT 2 就職希望先企業の規模 →参照P9

- ・就職先の規模は、「**こだわらない**」が5割、「**中小企業**」が2割と大半が規模にはこだわらない状況。特に県内就職希望者にその傾向が強い。

POINT 3 就職情報の入手先 →参照P11,P12

- ・就職情報のメインとなる入手先は**大手就活サイト**。
- ・就職活動に**SNS**を活用しているのは7割。
- ・県内企業の必要な情報を「**十分得られている**」のは**1割未満**。

POINT 4 就職先に求めるポイント・知りたい情報 →参照P10, P13

- ・就職先に求めることは、「**職場の雰囲気や人間関係が良いこと**」、「**福利厚生制度が充実していること**」。
- ・知りたい情報は、「**職場の人間関係や雰囲気**」、「**具体的な仕事内容**」。

POINT 5 希望する働き方 →参照P14

- ・**7割が「仕事とプライベートを両立させたい**」を希望。また、**7割は「育児をしなから働きたい**」。

POINT 6 行政に期待する支援 →参照P15

行政に期待する支援としては、「**県内就職支援に関する情報提供**」、「**気軽に相談できる窓口**」。

【企業等女性活躍実態調査】

POINT 1 新規学卒者の採用状況(直近5年間) →参照P19

- ・直近5年間に**新規学卒者を採用している事業者は4割**。
- ・採用が進んでいない最も大きな理由としては、「**募集しても応募者がいない、または少ない**」。

POINT 2 新規学卒者の採用意向 →参照P20, 21

- ・今後の女子学生の採用意向については、「**ある**」が5割、「**ない**」が2割。
- ・「**ある**」と答えた割合を規模別みると、300人以上が9割、100～299人が6割、100人未満は4割。
- ・採用したい理由としては、「**優秀な人材を確保するため**」、「**多様な人材の活用を図るため**」。
- ・採用しない理由としては、「**担当できる仕事に限られている**」、「**新卒を育成する余裕がないため**」。

POINT 3 採用活動で活用している手段 →参照P22

- ・**8割の企業はハローワーク**を活用した採用活動を実施。

POINT 4 採用活動で公表している情報 →参照P22

- ・具体的な仕事内容や福利厚生などの情報は多くの企業で発信しているが、**従業員の声や職場の雰囲気は少ない**。

POINT 5 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進 →参照P23,P24

- ・女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進への取組は進みつつあるが、**目に見える効果は十分出ていない企業が多い**。

POINT 6 行政に期待する支援 →参照P25

- ・女性活躍を推進する上で、「**仕事と家庭の両立支援体制の強化策**」、「**女性に配慮した職場環境整備の支援策**」。